広 報 資 料

令和５年３月１０日
生活安全部生活安全企画課

令和５年２月末の特殊詐欺発生状況について

１　２月中の発生状況
- 被害件数　７件
- 被害金額　約1,036万円

２　令和５年２月末の発生状況
- 被害件数　１３件（前年同期比＋３件）
- 被害金額　約1,312万円（前年同期比－約51万円）
- 手口別

区　分	令和５年２月末			令和４年２月末			対前年比	
	件数	うち未遂	被害額（万円）	件数	うち未遂	被害額（万円）	件数	被害額（万円）
特　殊　詐　欺	13	0	1,312	10	2	1,363	3	-51
オレオレ詐欺	1		105				1	105
預貯金詐欺							0	0
架空料金請求詐欺	8		584	8	2	1,271	0	-687
還付金詐欺	1		100	2		93	-1	7
融資保証金詐欺	1		25				1	25
金融商品詐欺							0	0
ギャンブル詐欺	1		499				1	499
交際あっせん詐欺							0	0
その他の特殊詐欺							0	0
キャッシュカード詐欺盗	1						1	0

※　金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。

- 年代別

被害者の年齢	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代(65歳未満)	６０代(65歳以上)	７０代	８０代
人数			1	2	1	1	1	4	3

※　高齢者率　６１.５％
- 男女別　　男性６人、女性７人

３　被害の傾向

２月中に認知した被害は７件で、オレオレ詐欺、還付金詐欺、キャッシュカード詐欺盗、架空料金請求詐欺などの様々な被害が発生しました。

＜オレオレ詐欺＞

電話で息子を騙り、「駅に忘れ物をしてしまった。」「忘れ物は見つかったが、今日の午後零時までに会社に納めなければならない１５０万円が無くなったので用意しなければならなくなった。」と被害者に息子が困っていると信じ込ませ、お金を自宅を訪れた上司を名乗る者に手交。

＜還付金、キャッシュカード詐欺盗＞
いずれも「市役所保険課」を名乗る者から保険料の還付の電話を発端として、ATM に誘導されてお金を振り込んだり、金融機関の職員を名乗る者が自宅を訪れてキャッシュカードをすり替えて窃取。

＜架空料金請求詐欺＞
・携帯料金の未納がある旨のショートメッセージへ連絡したところ、「有料サイトに登録して料金を払わずにいる」「ウイルスにより勝手に登録されている可能性がある」「未納料金で裁判になる」などと言われて指示されるままにお金を振込み、その後も「他にも未納料金がある」「ウイルス対策の保証料も必要」などと言われて更にお金を振り込み。
・「新型コロナ特例復興給付金が受け取れる」と言った内容のメッセージがアプリに届き、その後も「減収世帯の還付対象に者に認定されて還付金が受け取れる」「役職に就けば高額報酬が受け取れる」など言われ、給付金等の受け取りの為の手続費用の名目で、電子マネーを購入して ID を相手に教えたもの。
など

４　令和５年２月末の「声掛け」等による被害の未然防止状況
- 未然防止件数　１０件（前年同期比－７件）
- 未然防止金額　約209万円（前年同期比＋約１２万円）
- 未然防止率（阻止率）　４３．５％

銀行		郵便局		配送業者		コンビニ		その他	
件数（件）	金額（万円）	件数（件）	金額（万円）	件数（件）	金額（万円）	件数（件）	金額（万円）	件数（件）	金額（万円）
2	100					7	109	1	0

※　金額は一万円未満を四捨五入して表記しており、内訳と合計の数値が異なる場合があります。